

第57期 中間株主通信

2023年4月1日 - 2023年9月30日



人材力で提供価値を高め、 持続的成長を実現。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社経営における自らの想いをお伝えしつつ、第57期第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の営業状況をご報告申し上げます、さらなる事業成長への取り組みをご説明させていただきます。

2023年11月

代表取締役社長 **加納 慎也**



Q

この6月から社長に就任し、今どのような想いで経営に臨んでいますか？

A

私たち小松ウオールは、オフィスや商業施設をはじめ、さまざまな環境に求められる空間づくりをオーダーメイド製品で提供してきました。すなわち、お客様ごとに異なる課題を捉え、空間の価値を高め、ご要望を実現する取り組みと言えるでしょう。一方で当社は、事業規模の拡大を目指すとともに、そうした価値をもっと多くのお客様にお届けしていくために、業務をより効率化し、生産性の向上を図る必要があります。これからの価値提供において、お客様から高く評価されてきた従来の優れた部分を引き継ぎ、発展させながら、合理的な経営によって当社事業の成長を促進することが、私に課せられたミッションであると認識しています。

そのミッションを遂行する上でカギとなるのが、人材力

の発揮です。当社の社員数は、2023年9月末現在で1,353名に達し、単体の事業会社としては、かなり大きな人員規模となっています。製品の提案・受注から設計、製造、施工、サービスまで自社対応できる一貫体制が私たちの強みですが、組織の拡大に伴い分業・専任化が進んでいるため、他工程への理解を深めて相互連携を強化すべく、研修や人事交流を実施していく方針です。

私は当社の人材に、能力とモチベーションの高さを感じています。今後は、教育面の拡充や働きやすい職場づくりを通じて、社員一人ひとりのさらなる活躍と成長を促し、社員エンゲージメントを向上させてまいります。そして人的資本の価値を拡大し、事業の持続的成長につなげていきたいと考えています。

A

Q

上期を振り返り、事業環境と営業状況についてご説明願います。

この上期は、コロナ禍からの回復を受けて建材業界全体が好調に推移する中、当社事業においては、主に都市部における旺盛なオフィス需要を受け、可動間仕切を中心に売上が大きく増加しました。福祉・厚生施設や学校・体育施設、工場などの固定間仕切も堅調を示しています。オフィスについては、テレワーク・リモート会議用の個室ブースなどの導入、職場環境の快適性・機能性を高めるニーズへシフトしつつあり、特にIT・半導体関連などの好況業種では、人手不足を背景にオフィスへの投資意欲が強まっています。

一方でコスト環境は、鉄をはじめとする原材料価格の高止まりに加え、労務費の上昇も続いており、これらに対応した適正販売価格の浸透に努めました。

結果として当上期の業績は、期初の予想を大幅に上回る形で増収・増益を遂げました。2016年より順次進めてきた都市部におけるオフィス専門営業拠点の設置と、ショールームの有効活用が成果を上げ、受注を大きく伸ばすとともに、増収効果と工場の高稼働により生産性が向上し、大幅な利益改善を果たしたものです。

※ 業績の詳細は次頁以降をご参照ください。

A

Q

当期よりスタートした中期経営計画の立ち上がりはいかがですか？

当期は、中期経営計画「NEXT VISION 2028」(2024年3月期～2028年3月期)を始動し、基本方針「既存間仕切事業の成長」「新規製品の創出」「生産・物流オペレーションの高度化」にもとづく戦略に着手しました。

計画初年度の立ち上がり状況としては、「既存間仕切事業の成長」におけるオフィス市場への積極展開が順調に進んでおり、首都圏を中心に前述のとおり好業績を上げています。ブランディング強化に関しては、9月に名古屋ショールームをグランドオープンし、移動間仕切製品の価値を直に訴求する販促アプローチを開始しました。「新規製品の創出」は、外装分野や家具寄りの製品などを想定し、外部との協業も含めた体制づくりに向けて動き出しました。「生産・物流オペレーションの高度化」は、製造ラインの生産性改善や物流網の再構築などがテーマとなりますが、具体的な内容を議論している段階です。

本計画は、定量目標として2028年3月期における「売上高年平均成長率3～6% (2023年3月期基準)」「売上高営業利益率7～10%」「ROE 5～8%」を掲げています。現在の水準からは高めのハードルですが、市場の拡大基調を捉え、一貫体制と人材の強みを活かすことで達成すべく、チャレンジしてまいります。

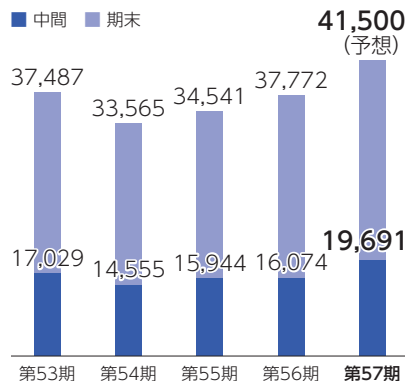
なお株主の皆様への利益還元については、純資産配当率(DOE) 3.0%を下限とし、配当水準の安定的向上を目指す「株主還元方針」を定めています。これにもとづき、当期の年間配当は1株当たり120円(中間55円・期末65円)を予定し、うち中間配当同55円を実施しました。

株主の皆様におかれましては、「NEXT VISION 2028」を通じて当社が実現していく企業価値の拡大と社会的貢献にご期待いただき、これからも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト

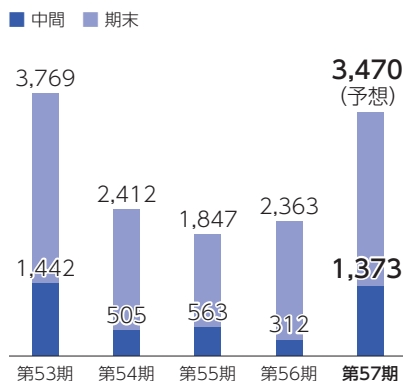
売上高

(単位：百万円)



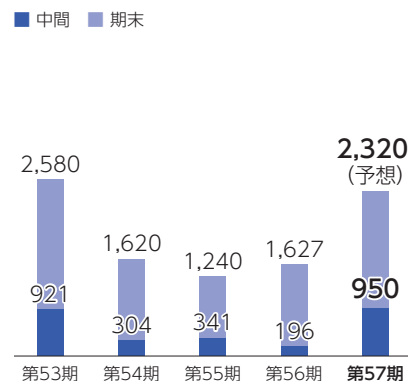
経常利益

(単位：百万円)



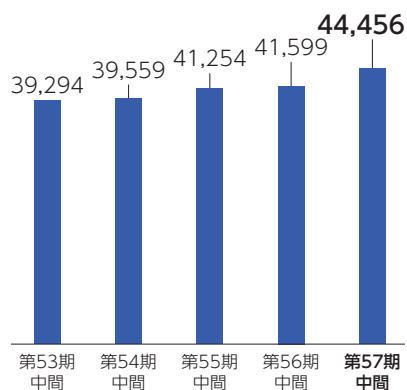
四半期 (当期) 純利益

(単位：百万円)



総資産

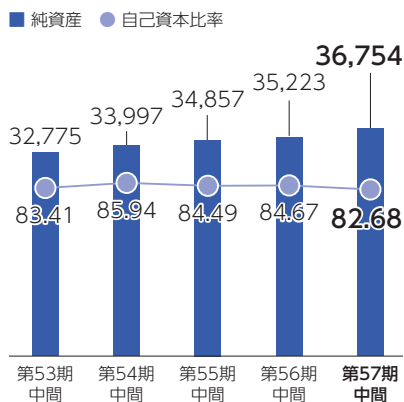
(単位：百万円)



純資産 自己資本比率

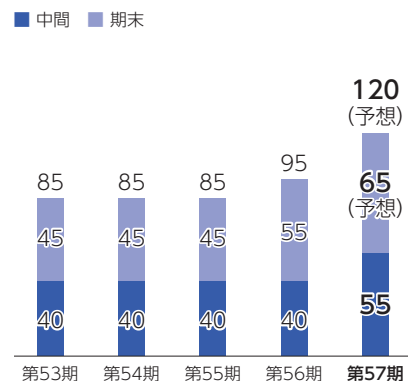
(単位：百万円)

(単位：%)



1株当たり配当金

(単位：円)



決算情報の詳細は、小松ウォール工業のWebサイトでもご紹介しています。

<https://www.komatsuwall.co.jp/ir/library/>



財務諸表要旨

貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 2022年4月1日～ 2023年3月31日	当第2四半期 会計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日
資産の部		
流動資産	29,999	29,593
固定資産	14,760	14,862
有形固定資産	11,922	11,978
無形固定資産	420	400
投資その他の資産	2,418	2,483
資産合計	44,760	44,456
負債の部		
流動負債	6,098	5,327
固定負債	2,437	2,374
負債合計	8,535	7,701
純資産の部		
株主資本	36,180	36,666
資本金	3,099	3,099
資本剰余金	3,035	3,035
利益剰余金	32,627	33,056
自己株式	△2,582	△2,525
評価・換算差額等	45	87
其他有価証券評価 差額金	45	87
純資産合計	36,225	36,754
負債純資産合計	44,760	44,456

損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日	当第2四半期 累計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日
売上高	16,074	19,691
売上原価	11,025	13,140
売上総利益	5,048	6,550
販売費及び一般管理費	4,766	5,250
営業利益	282	1,300
営業外収益	29	72
経常利益	312	1,373
特別利益	28	0
特別損失	0	0
税引前四半期純利益	340	1,373
法人税、住民税及び事業税	153	428
法人税等調整額	△9	△5
法人税等合計	144	423
四半期純利益	196	950

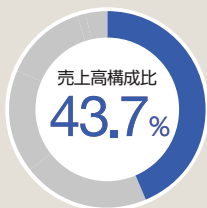
キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計期間 2022年4月1日～ 2022年9月30日	当第2四半期 累計期間 2023年4月1日～ 2023年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	2,110	2,424
投資活動による キャッシュ・フロー	△327	△637
財務活動による キャッシュ・フロー	△426	△528
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,356	1,258
現金及び現金同等物の 期首残高	11,246	11,476
現金及び現金同等物の 四半期末残高	12,603	12,734

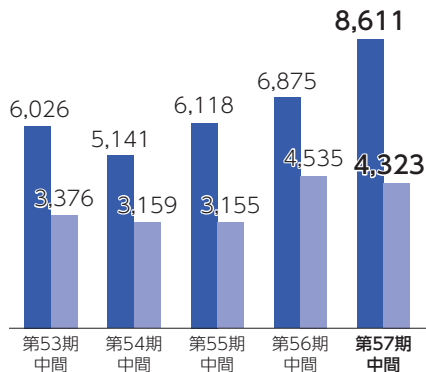
品目別概況

可動間仕切



レイアウト変更の際、使用方法に応じて撤去、移設が可能な間仕切であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位：百万円)

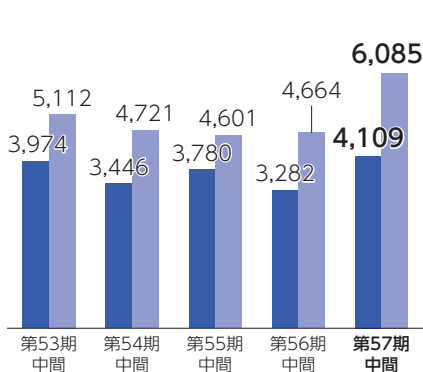


固定間仕切

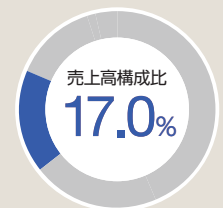


建物付帯工事として溶接により躯体に取付ける間仕切ならびに壁面化粧鋼板パネルの金属工事です。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位：百万円)

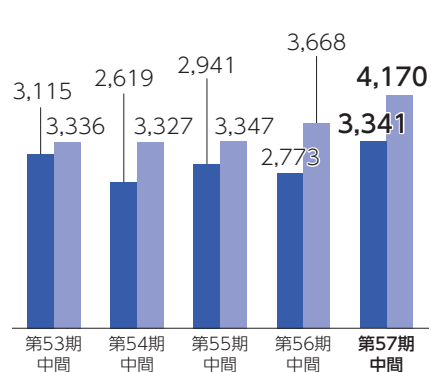


トイレブース

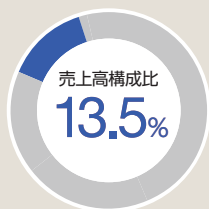


ユニット化したトイレ専用の間仕切であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位：百万円)

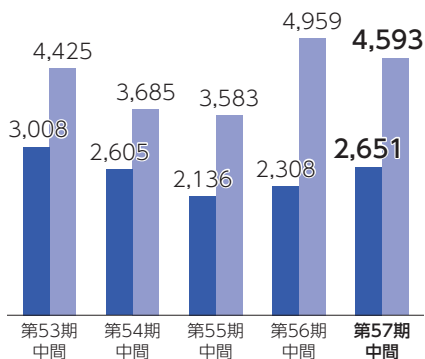


移動間仕切

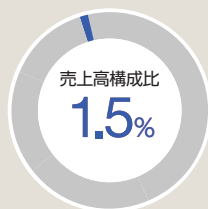


ホテルの宴会場等の間仕切として、ユーザー自身が移動させて使用する間仕切であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位：百万円)

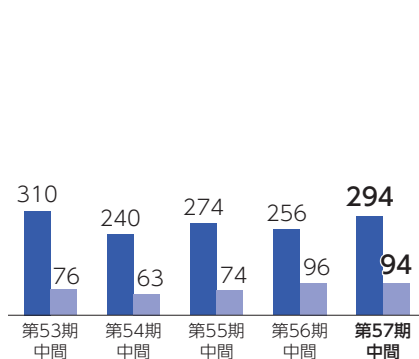


□一間仕切

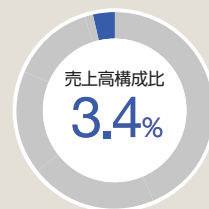


主に、オフィス用衝立およびローパーティション等のオフィス家具であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位：百万円)

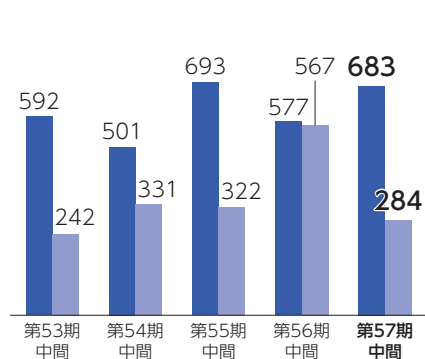


その他



主に、ABW型の働き方に対応した間仕切ならびに既存間仕切の解体・移設組立であります。

■ 売上高 ■ 中間期末受注残高
(単位：百万円)



目の前の景色が変わる
まるで景色が開けるように、
その移動壁は動く。

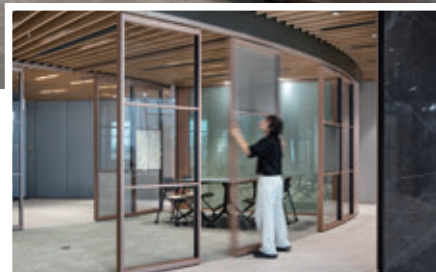
Show Move Hub Nagoya 2023.9.1 Grand Open

小松ウォールはライブ兼ショールーム「Show Move Hub Nagoya」を開設いたしました。

扇形に配置された様々な種類の移動間仕切によるフレキシブルな変化を体感いただけます。

また、最新の製品や、開発中の製品などを展示するスペースも設けており、間仕切の可能性を感じることでできる空間となっています。

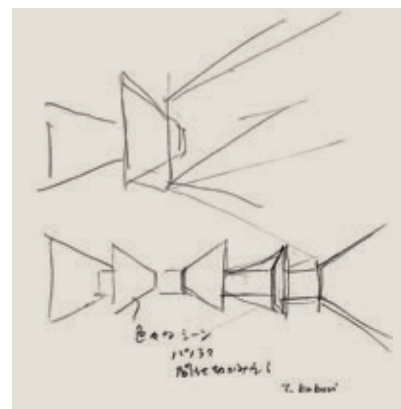
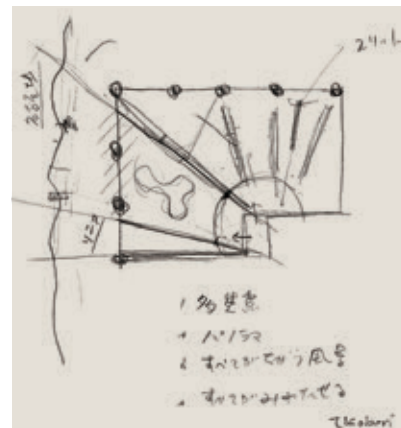
Show Move Hub Nagoya に是非お越しください。



Photo(page 7) : Kenta Hasegawa



● コンzeptスケッチ



Space Design : Tetsuo Kobori Architects

Graphic Design : Tetsuo Kobori Architects

Arata Takemoto Design Office

小堀哲夫建築設計事務所 小堀哲夫氏メッセージ

— 空間デザインコンセプト パノラマとパラパラとパースペクティブ

角地に位置するこの場所に初めて訪れたとき、名古屋の景色がパノラマに広がっていた。同時に、小松ウオールのランニングウォールを、まるで紙芝居を捲るように、空間でパラパラと移動させたら面白いのではないかと思った。ランニングウォールを円形の軌道にすることで、中心からは空間全体を見通すことができるようにした。そうすると、パースペクティブに空間に奥行きと広がり生まれ、さまざまな働き方が見えるのではないかと思った。

小松ウオールの移動間仕切は、業界の中でもトップクラスの技術を誇る。常に変化し続ける空間の状況に応じて、スムーズに操作することができるランニングウォールの可能性を最大化した。

DATA >>

ミッドランドスクエア15F
名古屋ショールーム

〒450-6215 名古屋市中村区名駅4-7-1ミッドランドスクエア 15F
TEL 052-571-1611 営業時間 9:00~16:00 (休館日 土・日・祝)
ショールームにお越しになれる場合は、事前にご予約をお願いいたします。



新製品紹介

スムーズウォール® (SMOOTHWALL®) 2023年10月発売開始



フランス落とし

ストッパー解除時

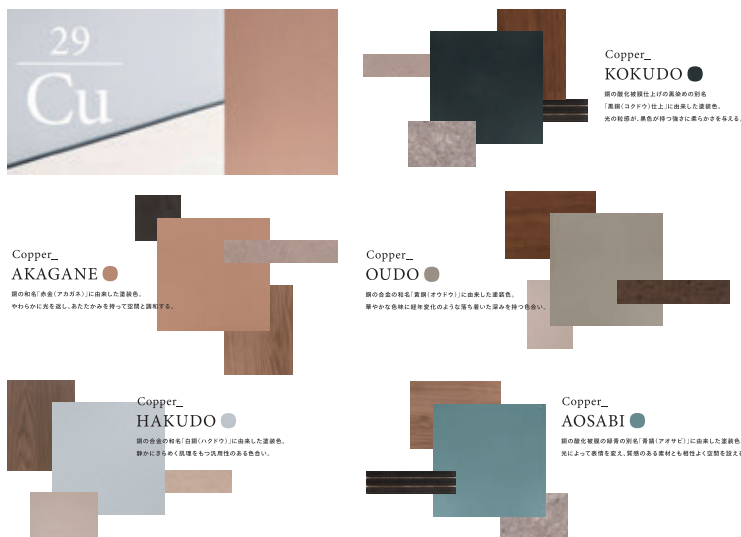
ストッパー固定時

「スムーズウォール®」は、天井後付けタイプの簡易スライディングウォールです。パネル固定はパネル側面のフランス落としを操作するだけで、ストッパーが稼働し、どこでも簡単にセットが可能です。自由な位置にセットできるため、さまざまなレイアウトを手軽に作り出すことができます。また、天井の解体や、大がかりな下地工事を必要としないため、工期短縮にも貢献可能です。

新仕様紹介

Copper Series

経年変化や合金によりさまざまな表情、用途をもって私たちの暮らしに溶け込み、彩を添える銅。そんな銅に由来するCopper Series (カッパーシリーズ) は、異素材にも寄り添い、引き立てる、質感ある新しい塗装ラインナップです。特殊処理メタルフレークとツヤ消し処方により、金属のきらめく粒間を残したままマットな表面を実現しました。光を受け入れ、静かに肌理を返す表面は、多様化するデザインに親和する新たな選択肢を与えます。



Direction: Tetsuo Kobori Architects

Design: Arata Takemoto Design Office

サステナビリティへの取り組み①

TCFD提言に基づく情報開示



小松ウオールは、気候変動問題を最も重要な社会課題の一つと位置づけ、カーボンニュートラルの実現を目指してCO₂排出量削減の活動に取り組んでまいります。

また、TCFD（気候変動関連財務情報開示タスクフォース）提言の趣旨に賛同し、同提言に沿った情報開示を推進しています。

サステナビリティへの取り組み②

再生可能エネルギーの導入

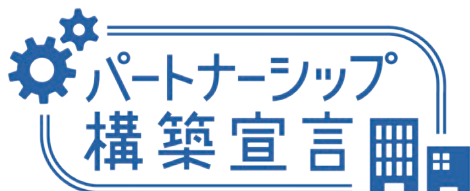
小松ウオールは、2023年4月より、本社及び工場における利用電力について、北陸電力株式会社の提供する再エネ電気「かがやきGREEN」を利用し、CO₂排出量ゼロの電力供給を受けることになりました。

今回の電力の切り替えにより、年間約2,700トン（2022年度実績）のCO₂排出量を削減できる見込みであり、これは杉の木約192,500本が1年間に吸収するCO₂に相当します。



サステナビリティへの取り組み③

パートナーシップ構築宣言



小松ウオールは、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため2023年8月10日にパートナーシップ構築宣言の趣旨に賛同し、宣言と登録を行いました。

会社概要 / 株主メモ (2023年9月30日現在)

会社概要

商号 小松ウォール工業株式会社
(KOMATSU WALL INDUSTRY CO.,LTD)

設立 1968年1月22日

資本金 3,099,945,552円

事業目的 1. スチールおよびアルミニウム製品の製造、販売ならびに工事施工
2. 室内装備品の販売および設計施工
3. 前各号に附帯する一切の事業

従業員数 1,353名

(注) 従業員数には、嘱託およびパートタイマー(計46名)は含まれておりません。

取締役一覧

代表取締役社長執行役員 加納 慎也

取締役常務執行役員 山田 新一

取締役常務執行役員 廣瀬 紀夫

取締役常務執行役員 綾 由紀夫

取締役 蜂谷 俊雄

取締役 古谷 まゆみ

取締役常勤監査等委員 金子 信一

取締役監査等委員 宮前 悟

取締役監査等委員 中田 浩一

(注) 取締役 蜂谷俊雄氏、古谷まゆみ氏、宮前悟氏および中田浩一氏は社外取締役であります。

株式の状況

発行可能株式総数 25,000,000株 単元株式数 100株
発行済株式の総数 10,903,240株 株主数 8,120名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
KANO株式会社	1,731,849	18.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	850,100	8.98
株式会社北國銀行	442,280	4.67
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	432,900	4.57
小松ウォール工業従業員持株会	340,540	3.60
有限会社マルヨ	193,000	2.04
原田株式会社	180,000	1.90
加納 裕	161,012	1.70
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	156,300	1.65
明治安田生命保険相互会社	154,600	1.63

(注) 1. 持株比率は自己株式(1,437,351株)を控除して計算しております。
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および株式会社日本カストディ銀行の持株数は、信託業務に係るものであります。
3. 株式会社日本カストディ銀行が保有する432,900株には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産143,000株が含まれております。

所有者別株式数分布

※自己株式は一般国内法人に含んでおります。

一般国内法人 38.35%	個人・その他 32.47%	金融機関 18.91%
	外国法人8.42%	証券会社1.85%

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

定時株主総会 6月

単元株式数 100株

公告方法 電子公告(<https://www.komatsuwall.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

小松ウォール工業株式会社

石川県小松市工業団地1丁目72番地

www.komatsuwall.co.jp



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

